

# ふたかみ NEWS プチトマト

## はびきの園・ハピバール おもちつき



感染対策を考慮しながらお餅つきを楽しみました〜♪  
(波多江ひ)



ハピバール カフェ  
定休日⇒水曜日、日曜日 2月5日(土) 2月12日(土)  
貸し切り⇒2月26日(土) 午後～  
※変更になる場合もございますので、詳細はお問い合わせください。



このまちで暮らしたい  
「障害者生活工房」(グループホーム)  
**ー建設募金のお願いー**  
2022年6月 open 予定!!  
新しい暮らしを支える拠点として…  
建設募金へのご協力よろしくお願い致します。

◆郵便振替◆  
【口座番号】 00950-3-225417  
【加入者名】 社会福祉法人 ふたかみ福祉会

◆銀行からゆうちょ振込◆  
【金融機関コード】9900【店番】099 【預金種目】当座  
【店名】〇九九店(ゼロキユウキユウ店)  
【口座番号】0225417

きょうされん 第45次  
**国会請願署名・募金運動  
全国キャンペーン**  
2021年12月～2022年4月

障害者権利条約を地域のすみずみに  
障害のある人びとを支える  
制度づくりのための  
署名・募金にご協力ください。

- 後援会入会及び更新の方々(敬称略)
- 【2021年度12月】
- ・東侑右 大伴改太 ……………以上4口
  - ・大西理恵子 ……………以上2口
  - ・梅田明 布引正太郎 ……………以上1口
- \*訂正とお詫び  
1月号の西村裕行様の字が間違えておりました。大変申し訳ございませんでした。
- 寄附…………大西理恵子様/大阪友の会様/野中マサ子様  
■ボランティア…………畑英作様/垣内秀夫様  
■アルミ缶回収(12月分)…………798kg
- ありがとうございました

◆2021年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆  
法人ではグループホーム建設が始まっています。  
皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。  
【個人会費:1口3,000円 団体会費:1口10,000円】 郵便振替口座:00940-5-325894

「津久井やまゆり園事件」から障害のある人の「いのち」の尊厳を考える

1月8日の法人研修できょうされん常任理事小野浩氏にお話しいただきました。

2016年7月に起きた衝撃的な事件。朝からテレビで取り上げられており、なんてことが起きたのか、と驚愕のまま出勤したことが思い出されます。

当初、植松個人の考え方の問題として取り上げられていたような記憶がありますが、5年が経過する中で事件の背景がみえてきています。

あの事件はなぜ起こったのか。植松個人の考え方に原因があったことは間違いないですが、それを膨らませてしまったことの一つに、やまゆり園での経験が影響しています。勤務当時植松自身が書いた書類は対応なども適切にしていることがうかがわれ、これを書いた人があの事件を？と感じるほどです。そんな一面もあった植松を重度障害者が不幸の元だと思ひ込ませてしまった、本人の意思や思いに向き合わない職員都合の不

適切な支援や言動。そういったことが必要な支援として引き継がれ、当たり前のこととして多くの職員が認識してしまっていたことや、不適切な支援や言動を指摘しあう関係がなく管理者もそれを把握していなかったのか、見過ごしていたのかというやまゆり園の体制。さらに、日本社会の在り方です。何についても生産性が取り沙汰され、どれだけ役に立ってるか、ということ価値が決められてしまふ。多様な意見に触れることが少なく受け入れにくい社会がそれをさらに助長していったのです。

「内なる優生思想」。誰しも内に秘めているものがあります。しかし、それを育てていくのも抑えていくのも、自分が何をどう感じるか、また、周りがどう働きかけるのかによって大きく変わっていくはず。やまゆり園でもお互いに議論しあい、一人一人を大切に、その人の思いを聞くことができるような場所であったならば、日本社会が生きにくさを解消できる

ような制度政策がなされ、多様であることを受け入れられる社会形成がされていたら・・・こんな事件は起こらなかったでしょう。

同じようなことがないと言い切れるか？と問われたら今のままではなと言い切れません。第一歩としてまずは支援を行う一人として、新しく入ってきた職員さんにこれだいいんだ、と思わせてしまふような支援が行われていないか、他に方法はなと決めつけていることはないだろうか、今一度見直さないとはいけません。そして、管理者としても改めて気を引き締めていく必要があると感じさせられました。毎日に慣れてしまわず、慣れないための感性を磨いていくこと、何事も疑問に感じることを大事にしなごらお互いがしっかりと話し合えるような環境にしたいかないといけません。

「かがやく命を大切に作る社会をつくりまします」。この理念を法人内だけではなく、地域に広めていくことで誰もが生きやすい社会にしていききたいと再認識しました。(西岡)

きょうされん第45回国会請願署名スーム研修に参加して

12月17日にきょうされん第45回国会請願署名スーム研修に参加し、きょうされん常務理事の塩田千恵子氏の講義や、きょうされんで署名・募金活動を一緒に活動している他法人の方の顔や雰囲気などを見る事ができて、署名をする理由や意味などを再確認できたと思います。

塩田さんのお話の中で「明日には変わらないかもしれないけど、5年10年後には変える事ができるかもしれない。でもその5年、10年を何もせずに過ごしていたら、何も変えることはできない。」と言っておられ、本当にその通りだと思ひました。

昨年もきょうされん署名の担当をさせてもらいましたが、自分の中で理解していたかというところ、よくわかっていない中で活動していたように思ひます。

今回研修に参加し、同じように署名活動に携わっている人と関わり、疑問や感想など生の意見を聞けた事により、何をいいたいのか、伝えたいのかを考えるようになりました。考えて分かりやすく伝えるという事では、障害のある

人にとって住みやすい社会は、私たちにとっても住みやすい社会、そんな社会を作るための署名活動である事を感じたので、署名活動の訴えの中にも取り入れていこうと思ひます。

質疑応答では、新しい職員にどうしていけば運動が身近になるか？という質問に、塩田氏は「取り組み方のアドバイスとして100パーセント理解してもらい必要はなく、街頭署名や取り組みと一緒に参加して、そういう場に出て行ってもらうことで、動きながら感じて覚えていけばいいのでは」とお話しされ、取り組みに参加しやすい環境づくりも大切だと感じました。

署名活動や「きょうされん活動」自体も、すぐに結果成果が出ることはかりではなく、運動自体も難しい事もありますが、これからも研修などに積極的に参加して「きょうされん運動」の理解につなげたいと思ひます。

1人でも多くの第45次きょうされん署名のご協力をお願い致します。(松田)

ハピバール 年始行事

2022年、ハピバールの初出勤の5日に年始の行事を行いました。午前は書き初め、午後は餅つきと、みんなで作った福笑いを楽しみました。書き初めのテーマは、今年の抱負や好きなモノ。「何を書こうか」と悩んだ仲間、すぐに抱負を決めて筆をとった仲間と様々でしたが、『仕事をがんばる』や『花は咲く』『パフィーと歌いたい』等の新年の決意の時間になりました。この抱負が実現できるように、体調に気を付けて、今年一年頑張っていきたいです。午後のお餅つきでは寒い中でも「よいしょ」の掛け声に合わせて杵を振りまわした。ノロウィルス等の感染予防の為、ついたお餅は食べませんでした。毎年行っているお正月らしい取り組みが出来ました。福笑いでは、みんなで描いた輪郭や目や鼻を並べて大笑い。なんだか



福笑い・書初め



ボータスの取り組み



\*木工班  
奈良県にある焼肉いちばんまでバイクキングに行き、自分たちでお肉を焼いて美味しく食べました!!!



\*アトリエ班  
サンマルクレストランでランチコースを堪能しました。次は何コースにしようかな!!

\*リサイクル班  
焼きそばやフランクフルト、コロックなどたくさん食べて大満足でした!

